

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/01/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.42	0.45
JPY/THB	0.2406	0.0007
USD/JPY	147.19	1.46
EUR/THB	38.51	0.23
EUR/USD	1.0875	-0.0075
USD/CNH	7.219	0.034
SGD/THB	26.37	0.15
AUD/THB	23.32	0.03
USD/INR	83.08	0.19
USD Index	103.36	0.95

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.406	0.008
10Y (THB)	2.734	0.010
5Y (USD)	3.934	0.104
10Y (USD)	4.058	0.119

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,030.2	-21.4
WTI (Oil)	72.40	-0.28
Copper	8,354.5	-26.5

Stock

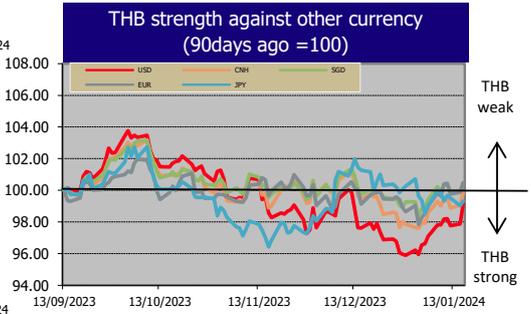
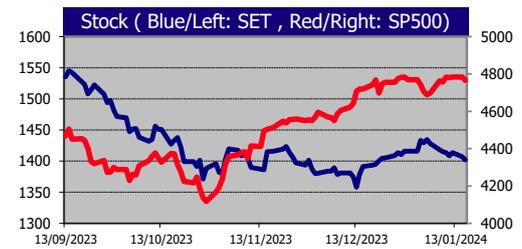
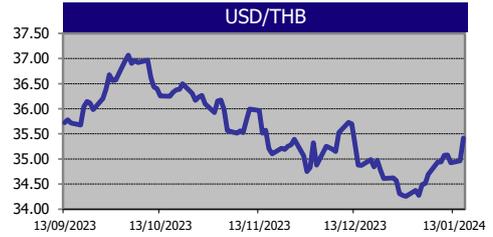
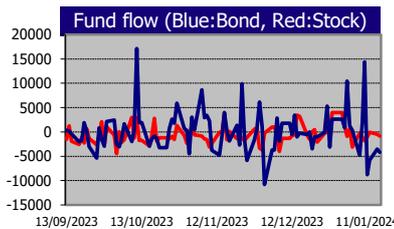
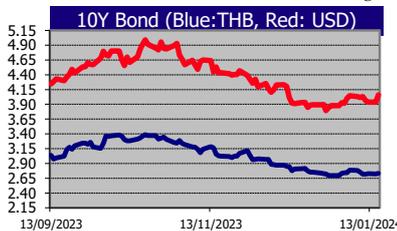
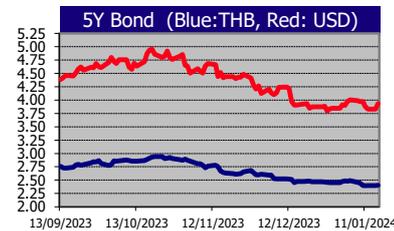
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,401.72	-5.30
NIKKEI (JP)	35,619.18	-282.61
DOW (US)	37,361.12	-231.86
S&P500 (US)	4,765.98	-17.85
SHCOMP (CN)	2,893.99	7.70
DAX(GER)	16,571.68	-50.54

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(834)	-363.4
Bond net flow	(4,208)	-667.6

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

●昨日のドルパーツは上昇。35パーツちょうど付近で取引を開始。米金利が高水準での推移を見せる中、ドルパーツは序盤から底堅く推移。35パーツ台前半まで上昇し、しばらく同水準での推移が続いた。欧州勢が参入してくると、さらにドル高地合いが加速。特にドルパーツ相場については、バンコク時間午後にはタイの来年度予算について、今年度と比べGDP比約3%財政赤字が拡大することとなる予算案が内閣で承認されたとの報道が確認されていたこともあってか上昇幅は大きなものとなり、35パーツ台半ば付近まで上昇。その後、1月NY連銀製造業景気指数が市場予想を大幅に下回る結果であることが確認され、35パーツ台前半まで戻す場面が見られたものの、ウォラーFRB理事の「政策変更は慎重に調整されるべきで、急いではない」との発言に米早期利下げ期待の後退とともに再度35パーツ台半ば付近まで上昇し、そのまま35.42レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

●昨日のドル円は上昇。145円台後半で取引を開始。序盤こそ下押しされる場面が見られたものの、仲値にかけて値を戻して以降は終始底堅く推移。米国経済指標の軟調な結果が確認された場面では一時鈍化したものの、ウォラーFRB理事の講演を受けて再度勢いを取り戻し、終盤にかけて147円台に乗せると、そのまま147.19レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

1月に入ってから12月に進んだ利下げ期待の修正によるボラタイルな市場が続いています。昨日は、FRBのウォラー理事の講演がありましたがその際の発言を受けてドル買いも強まりました。当人が11月末に、テイルルールに基づけば3,4,5カ月か分からないものの、インフレ率が低下方向に向かっていると確信が持てればインフレ率が低下したという理由のみで政策金利を引き下げ始めることができると発言したことが12月の金利低下やドル売り相場の始まりとなりました。一方で昨日の発言では、過去ほど急いだり迅速に利下げをしたりする理由は見当たらないと利下げに関するトーンは弱まっています。BOTも先日利下げ観測の高まりにくぎをさすような発言をしていますが、どの中銀にとっても独立性の維持と拙速な行動は避けるという傾向が見て取れます。市場の織り込みは中央銀行のスタンスに比してかなり先行していますのでその修正が何度も起こるといった点は押さえておきたいところです。(塩谷)